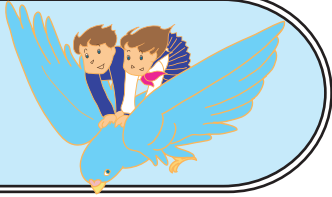


交通遺児育英会機関紙

©平成19年5月15日発行
発行・財団法人交通遺児育英会
〒102- 東京都千代田区平河町2-6-1
0093 (電話) 0 3 (3 5 5 6) 0 7 7 1
(H P) http://www.kotsuiji.com

君とつばさ



第2次長期事業計画を策定

公益法人制度改革と補助金早期返納への対応

財団法人交通遺児育英会は3月23日、東京都千代田区平河町の海運ビル会議室で平成18年度第8回臨時理事会、第76回評議員会と理事会を開き、今年度から取り組む第2次長期事業計画を決めた。

平成15年末にスタートした新長期事業計画は、一部を除きほぼ達成したので、昨年度、次期長期事業計画の立案に取り組み、このほど平成19年度から23年度までの5年間の第2次長期事業計画を策定した。

今回の計画は、本会を取り巻く次のような背景事情も考慮して策定した。

近年、交通事故死者数が減少してきたこと(負傷者数はあまり変化なく、高い発生数で横ばい状態)、個人情報保護法施行後の交通遺児に関する情報入手が困難になってきたこと、奨学生志願者が減少傾向にあること、さらに、公益法人制度を改革する新法の公布、旧運輸省からの高校奨学金に対して受けた補助金の早期返納などが挙げられる。

このような背景の中で、公益法人制度改革と補助金の早期返納化は、いづれも本会の事業の根幹にかかわる問題であるから、これへの対応を中心に据えて第2次長期事業計画を策定した。

新しい制度は、民間の公益活動を活性化させるため、これまでの主務官庁による公益法人の設立許可制度を、登記のみで法人が設立できる制度に改める。その上で、本会のような公益目的事業を主たる目的とする法人については、行政庁が民間有識者による公益認定等委員会の意見に基づき

「交通遺児育英会35年史」刊行



「交通戦争」さなかの昭和44年に設立した交通遺児育英会は、35年史を3月末に刊行した。本文は、第1章の「設立と沿革」から始まり、「奨学金の貸与」「奨生に対する指導・教育」「学生寮の経営」「奨学金の返還」「寄付紙の発行」「財務」の8章に分かれており、執筆は各セクションの実務担当者(非売品)が担当し、執筆した。巻末には資料として、昭和53年から始まった心塾講座の講師名、演題、そして読書感想文の課題図書一覧のほか、理事会・評議員会の議案リスト、歴代役員名簿、年表が掲載されている。

公益法人に認定する、というものである。本会は、現状の特定公益増進法人から新法の公益財団法人への移行を図っていき考えである。そのための認定基準をクリアするためにも、新定款の制定、財務内容、組織の見直しなどを早急に始め、円滑に移行手続きを進める。

返納額は、毎年の寄付金収入額にほぼ匹敵する額であり、財源は運用資産を取崩して充当せざるを得ない。この運用資産は、本会の収支バランス均衡のための元手であるから、最小限に食い止める必要がある。そのために事業活動全体の収支改善を図らざるを得ないが、行政改革の一環として、平成19年度以降に一定額を返納しなければならなくなった。

減、増収対策への対応、事業合理化、諸経費削減のためには、つどいや海外語学研修などの給付事業の合理化を検討することや業務委託費などの諸経費の削減が考えられる。

一方では、増収対策として、設立40年を契機として知名度向上策を検討・推進させ、あしながおじさん増加を図る。これらの対応策とともに、返還事務を円滑化し、滞納者対策をなお一層進めていく。

相談会、今年度で全国一巡

19年度事業計画・収支予算決まる

交通遺児育英会は、3月23日、平成18年度第8回臨時理事会、第76回評議員会と理事会を開き、平成19年度事業計画と収支予算を決めた。

相談会は、佐賀(7月)、東京・茨城・山梨合同(12月)の各都県で開き、今年度で全県をカバーすることになる。

今年度は、第2次長期計画の初年度に当たるので、事業計画は、第2次長期計画に定めた課題を遅滞なく確実に推進することを目的に策定した。

具体的には、奨学指導、返還、募金などの定常業務を堅実に進めることに加え、長期計画の課題である公益法人制度改革への対応、旧運輸省からの自動車事故対策費補助金の早期返納対応、さらに事業の合理化、経費削減および増収対策の推進、財産管理など内部牽制制度の強化である。

1 奨学事業
19年度奨学生の新規継続を含めた採用計画は、高校、大学とも各730人、大学院41人、専修学校208人、各種学校6人の計1715人。前年度比53人増。入学一時金の貸与計画は、高校180人、大学85人、専修・各種学校46人で、昨年度から始めた高校奨学生への進学準備金の貸与は70人予定している。

2 補導事業
高校奨学生と保護者のつどいは、中部・近畿地区を

漸減が続く奨学生の増加対策としては、進学準備金の利用推進を図ること、本会奨学金制度の一層の周知徹底を図るため、学校や都道府県・市町村の教育委員会や地方自治体、事故対策機構などに積極的に協力を求め、保護者、遺児などへの広報活動を強力に推進していく。その手段として、本会のホームページを最大限に活用する。

3 学生寮の維持経営
塾はあくまでも勉学の場であることをこれまで以上に徹底するため、塾生には成績表の提出を求め、適切な指導に当たる。その一環として、就職試験などへの準備に資するため、面接講座を定例化する。関西学生寮や大森寮の寮生にも同様に指導する。

4 資金造成活動の強化
「さっちゃん募金箱」の配布先拡大を前年度に引き

のたためには、つどいや海外語学研修などの給付事業の合理化を検討することや業務委託費などの諸経費の削減が考えられる。

奨学生募集中

局からの寄付金自動送金、遺贈、寄付金優遇税制の進展などをPRする。さらに、過去の大口寄付者で近年寄付が途絶えている先方に、多額でなくとも恒常的な支援を依頼していく。

5 機関紙の発行
年5回、6〜8ページ建てで発行し、さらに内容の充実を図る。紙面はホームページに転載、一般の人たちに本会の活動を知ってもらう一助とする。

19年度収支予算
事業計画を実施するための19年度予算は、支出16億9700万円(事業活動支出16億8100万円、投資

活動支出1600万円、収入17億1000万円。支出、収入ともほぼ前年度並みとなっている。

主な支出は入学一時金、進学準備金の高額化で前年度より3000万円ほど増えた奨学金が11億6200万円、学生寮運営費1億1000万円、つどいや相談会開催費1700万円、海外語学研修派遣費3500万円、機関紙発行費1900万円。

朝のラッシュ
時、最寄り駅で
のことを急ぐ人々
を気遣うふうも
なく、中年の男性が階段にしゃがみ込み、紙で何かを救い上げようとしている。どうやら虫らしい▼やがて人の流れを横切り、窓から、緑の木々がそよぐ大気へ解き放った。いつ踏みつぶされるかもしれない小さな虫を。時として、こんな優しさに出会うことがある▼本会が育英事業を展開できるのは、あしながおじさんに大きく負っている。中には年金生活をしていながらも「青少年の育成のために」と協力してくださる方もいる▼あしながおじさんの命名のもととなったウェブスターの小説「あしながおじさん」その続編もとても心温まる作品である。主人公が長じて、親友に自分が過ごした孤児院の院長を依頼する。院長は孤児たちを想い、信頼を深め、大きく包み込んでいくのだが、その優しさは、本会のあしながおじさんの優しさと水原を共有している▼今、いじめが原因で自殺する子どもが後を断たない。正しくは「自殺させられる子ども」である。いじめは、社会の在り方を反映している、大人が子どもを育てるための優しさを失いつつあることを証明してはいないか▼初期キリスト教の教父アウグスティヌスによれば、無生物でさえ存在することを望んでいるのだという。死を望む子どもなんて、本来、いていいはずがない。小さな虫の「生」でさえも尊重しなければならぬことを教えられる社会であらう。

「あしながおじさん」大募集!

Q 私は寄付者の一人です。あしながおじさんに「あしながおじさん」になりたいのですが、今までの違いは?
A 「あしながおじさん」とは、交通遺児の応援団・サポーターであるご寄付者の肩書きとお考えください。

Q 「あしながおじさん」になる資格は?
A 現在ほとんどの年齢層に男女、若者男女、法人、グループとなたでも結構です。寄付金額、時期、回数など制限はありません。

あしながおじさん Q&A

(本来、ご寄付者全員をこのお呼びしたいところですが)この肩書きがつくことによる違いは、当会からの「寄付金領収書」発行が、年一回になることです。
そもそも、ご送金のさい、お手元に残る郵便局や銀行の「受領証」も領収書なの



海辺の草原でじゃれ合うヒグマの兄弟(北海道知床で)＝写真家・田村允人氏撮影

修学資金でお困りの方いませんか

高校・大学・大学院・専修学校
—交通遺児—
奨学生募集
交通遺児に奨学金をお貸します
～保護者が交通事故の著しい後遺障害で働けない場合も貸与できます～

東京都日野市に
大学生・専門学校生
の学生寮あり
寮費 朝夕食込み2万円

随時 受付中

学 校	月 額	入 学 一 時 金
高校・高専	2～4万円	20～60万円
大学・短大	4～6万円	40～80万円
専修・高等専修	2～4万円	20～60万円
大学院	4～6万円	40～80万円
大 学	5～10万円	—

無利子

財団法人 交通遺児育英会
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
☎03-3556-0773 ☎0120-521286 http://www.kotsuiji.com

奨学生募集

無利子で併用も可能

保護者が道路上の交通事故で亡くなったり、重度の後遺症で働けなくなったご家庭で、高校生以上の生徒・学生の修学資金にお困りの方はいませんか。財団法人交通遺児育英会は、今年度の奨学生募集のためのポスターを製作し、全国に配布した。本会の奨学金は、交通遺児や重度障害者の子女であるが、高校・高専、大学・短大、専修・各種学校、大学院を問わず、誰でも利用可能である。併用も可能で、同一世帯、同一学校から何人も応募できる。本会では、この奨学金制度を広く知ってもらい、交通遺児らが経済的理由から進学を断念することのないよう、毎年ポスターを製作して全国に配布している。「奨学生募集」と大きな文字で訴えたポスターは、縦51センチ、横36センチのB3判。学校種別の月額奨学金貸与額と入学一時金、さらに東京都日野市にある学生寮、連絡先などを刷り込んだ。ポスターは3万4000枚印刷。全国の学校、教育委員会、地方自治体、警察、福祉事務所、自動車事故対策機構、自動車教習所、報道機関などに送付し、協力をお願いしている。特に学校については、全国すべての中学校、高校、高専、短大・大学・大学院、専修・各種学校の校長、学長あてに約2万3000枚を送り、目立つ場所への掲示を依頼している。もし、お知り合いの中に奨学金の対象者がいましたら、紹介していただきたい。なお、詳しいことは本会奨学課へお問い合わせください。

ポスター制作 全国に配布

できる。無利子で、最終学校を卒業して半年たった後から、20年以内の年賦、半年賦、月賦で返還するシステムになっている。月々の奨学金のほかに、

あしながおじさんのお便り

事情により、これからは定期的な寄付はできなくなりました。不定期になりまして、できるときにさせていただきます。

（宮田市 Y・Kさん） 季節になりました。新しく役に立てればと思ひ、寄付のこともやっています。お返事をありがとうございます。

（花々が咲き始め、美しい）

（西東京市 T・Tさん） ボランティアで交通関係の仕事をしています。お返事をありがとうございます。

（我孫子市 K・Hさん）

（川崎市 J・Sさん）

（藤枝市 O・Tさん）

（瀬戸市 C・Iさん）

（横浜市 H・Yさん）

（広島市 T・Sさん）

少額ですが、お役に立てば

（南房総市 Y・Kさん） 交通遺児育英会あしながおじさん奨学会に送金させていただきます。お返事をありがとうございます。

（東京 I・Tさん） 春一番が吹いて暖かくなってきました。少しずつ生活のお役に立てればと思っています。

（横浜市 H・Yさん） 春はもうすぐ目の前に来

（東京 M・Yさん）

あしながおじさん募集中

定時制に入学 しての1年間

干葉 遠藤 圭夫
僕は昨年、工業高校の定時制に入学しました。最初は「制服もないし、友達も帰るときに学校へ行くのは嫌だな」と思っていました。でも今では定時制でよかったと思っています。いろいろな年齢の人がいて楽しく勉強しています。

◆高校生の声◆

自然を守るための 努力惜しまない

高知県 宮内 貴也
部活動は中学からやっている柔道部に所属しています。定時制の部活練習は大会前の1週間だけしかなくて、大会では2回戦で負けてしまい、悔しい思いをしました。中学のころの練習を懐かしく思います。



父の事故と死 私たちの悲しみ
和歌山県 近江 美衣
父が事故に遭ったのは1学期終業式の日で、弟が父の看護をしながら、生活を支えてくれていました。しかしその母も病気になるので、入院となりました。入院の前日、私たちは悲しさを抑え、自然に涙がこぼれ、母が死んで間もなく母はパートの仕事に二つ掛け持ちで朝から晩まで働き、仕事帰りに病院に行き、父の看護をしながら、生活を支えてくれていました。

自分にとつての 「一番」を探す

岡山県 古谷野 美紀
高校3年生になると、教師や友人たち、家族、親戚から卒業後の進路について尋ねられることも多くなってきました。大学へ進学するか、専門学校へ行くのか、就職するのか。正直、まだ自分でも分かりません。今の私は、卒業してからどの道へ進むのか迷っています。

家試験は3種類受けましたが、とても難しくすべて不合格。僕は合格できるまでチャレンジしていきます。卒業後は、建築の専門学校か白バイ隊員の学校へ進むか悩んでいます。あしながおじさんに僕はとても感謝しています。いつの日か僕が今度はあしながおじさんになれるように頑張っていきます。

部活動は中学からやっている柔道部に所属しています。定時制の部活練習は大会前の1週間だけしかなくて、大会では2回戦で負けてしまい、悔しい思いをしました。中学のころの練習を懐かしく思います。

テレビで地球温暖化のことをやっていた。今世紀末の海面上昇は59センチ、平均気温の上昇は5.8度。最初はよく分からなかったが、そのせいで北極のホッキョクグマの住む場所がなくなってきたと知って怖くなった。自然の仕返しがあるかもしれない。

僕のおじいちゃん、人間が自分勝手なことをしすぎて、暮らしている場所を自分たちが破壊していることに気が付かないというので、一部の人たちは自然を守ろうとする運動をしています。

父が事故に遭ったのは1学期終業式の日で、弟が父の看護をしながら、生活を支えてくれていました。しかしその母も病気になるので、入院となりました。入院の前日、私たちは悲しさを抑え、自然に涙がこぼれ、母が死んで間もなく母はパートの仕事に二つ掛け持ちで朝から晩まで働き、仕事帰りに病院に行き、父の看護をしながら、生活を支えてくれていました。

父は母の退院から数カ月後、2年余りの療養生活の末、とうとう力尽き、亡くなりました。私が中学3年生、弟が中学1年生の秋でした。さびしくなりましたが、私たちの心にも変化があったかどうかは知らない。



萌える春 燃える希望

第30回 心塾入塾式

東京の学生寮「心塾」の入塾式が4月7日、塾イベントホールで行われた。第30回という節目となった今年の新入塾生は、大学・短大、専門学校に入学を果たした男子14人、女子15人の計29人で、いよいよ東京での学生生活のスタートとなる。

この日は学校行事と重なったこともあり、出席したのは15人（男子6人、女子9人）。在塾生や保護者、職員の温かい拍手で迎えられ、いずれも緊張した面持ちで席に着いた。

穴吹俊士専務理事は祝辞の中で「人生を充実させるためには、誤ることなく目標を設定し、その実現に向けて前進すること。また、よい出会いを求めるには、臆することなく行動、発言を」と激励し、「努力する人へは精一杯、支援する」と結んだ。

中村悦心塾長は「塾生活



決意を述べる新入塾生

保護者を代表してあいさつをする佐藤さん



を漫然としたものとはせず、『超一流を目指すための場』ととらえてほしい。まずワンランク上を目指すために、学校へ行き、勉強をすること。そして集団生活の中で吸収できるものを得ること」と進言した。

新入塾生の自己紹介では「広い視野、行動力を身につけたい」「将来を見据えて行動する」「新しいことに積極的にチャレンジ」など力強く、頼もしい言葉を述べる者が多かった。

心塾初の女性塾長となった本多祐子さんは「塾生



新入塾生、保護者、職員が和やかに語り合った歓迎食事会

「積極的に」新生活へ意欲

活は新しい発見、可能性を見つけるいい機会でもある。思いやりと感謝の気持ちも忘れず過ごしてほしい。先輩としてのアドバイスを贈った。

保護者9人を代表してあいさつしたのは山形の佐藤義則さん。「世の中の役に立てる人間になれるように心塾で学んでもらいたい。また、先輩の方々は親代わりとして、厳しく、優しく後輩を導いてほしい」と父親らしい心情を述べた。

続いて前庭で記念撮影、記念植樹を行ったあと、歓迎食事会。新入塾生、在塾生、保護者の中に職員も加わり、これからのことなどについて話が弾み、楽しい会食となった。

夜は、在塾生による歓迎会が開かれ、先輩たちの厚いおもてなしに新入塾生は、早くも塾生活に溶け込んだ様子だった。

実際の視野と感覚を培う。なお、今年度はタイへの希望者はなかった。

4期生は次の通り。

「イギリス」30人
藤根一晃、渡部真要、金村美樹（以上北海道、高橋奈奈（岩手県）、三浦春香（宮城県）、濱名真理子（福島県）、立岡優希（埼玉県）、中山拓也（東京都）、鳥羽明日香、佐藤里沙（以上神奈川県）、小池駿（新潟県）、遊津和菜（福井県）、長澤さくら（静岡県）、宮島末有（滋賀県）、松本怜、白川亜美（以上京都府）、宮先瑞希、浦川真悟（以上兵庫県）、中山秀延（岡山県）、羅以書、片岡詩織、桃田龍太郎、松木由美（以上福岡県）、濱脇裕太（長崎県）、中武将紀、今村美香（以上熊本県）、野崎佳織（宮崎県）、仲村渠典華、德里桃子、德里桜（以上沖縄県）

「カナダ」2人
朝日麻理恵（愛知県）、鹿野将史（大阪府）、「オーストラリア」1人
鈴木葵（栃木県）

英、カナダ、豪州へ33人

海外語学研修生決まる

ホームステイをしながら学校に通い、英語を学習する高校奨学生への海外語学研修派遣4期生33人が決まった。夏休み中の7月下旬に出発し、3週間から4週間、それぞれの国で世界の若者たちと交流を深めながら国際的視野と感覚を培う。

派遣先はイギリス、カナダ、オーストラリアの3カ国。夏休み中の7月下旬に出発し、3週間から4週間、それぞれの国で世界の若者たちと交流を深めながら国際的視野と感覚を培う。

「大森寮」近況リポート 思いっきりお料理が作れます

東京学生寮「心塾」の分寮である「大森寮」に学生が住み始めて約2カ月。そこに積極的にチャレンジなど力強く、頼もしい言葉を述べる者が多かった。

心塾初の女性塾長となった本多祐子さんは「塾生活

（東京健康科学専門学校2年）と白井友子さん（東京海洋大2年）の二人。共に、心塾で寮生活をした後、大森寮に入った。

二人とも、通学時間が大幅に短縮されたことを喜んでいました。

「通学に2時間もかかる半在寮に通った大学を退学し、専門学校に入学し直つてしまふんです。そのため、生活のリズムがみんなと合わず、なんとなく独りぼっちになって、打ち解けるのに時間がかかりました」と、白井さんは寮生活での苦労を口にします。

一方、牛島さんは、1年学し、専門学校に入学し直つた後も心塾から通学していた。しかし、学校のある品川区まであまりにも遠すぎたため1カ月で退寮、下宿していったという。それだけに、通学時間のみならず、金銭的にも大いに助かっているという。

食事のない大森寮では、二人とも自炊生活。牛島さんは、栄養士の腕を生かして、昼の弁当まで自前だ。「こたごと、思いっきり料理を作ることができるんです。それに、献立の勉強にもなりますし・・・と、彼女はいう。

その上、「時間的な余裕ができたので、それだけ勉強がたっぷりできます」と、その効用を力説する。

牛島さんが通学している専門学校では栄養士の免許

この春、高校、大学、専門学校などを卒業して就職した人は、初めての職場、初めての仕事に大いに張り切っていることでしょうか。

6月、12月、月賦（毎月）から6カ月経過したあと、月22日（休祭日に当たった場合は翌営業日）。半年以内、年賦（年一回）は6月22日と12月22日、半年賦（年2回）で年賦は12月22日。手数料は本会が負担します。

その一方で、皆さんと入れ替わる形で新しい奨学生が誕生しています。そしてその奨学金は先輩たちの返還金で成り立っているのです。皆さんの返還は10月から始まりますが、後輩たちのために滞滞のないようにお願いします。

奨学金の返還は、貸与終了から振替日は、月賦の場合、毎月

新社会人は10月から

奨学金返還 きちんと

この春、高校、大学、専門学校などを卒業して就職した人は、初めての職場、初めての仕事に大いに張り切っていることでしょうか。

6月、12月、月賦（毎月）から6カ月経過したあと、月22日（休祭日に当たった場合は翌営業日）。半年以内、年賦（年一回）は6月22日と12月22日、半年賦（年2回）で年賦は12月22日。手数料は本会が負担します。

その一方で、皆さんと入れ替わる形で新しい奨学生が誕生しています。そしてその奨学金は先輩たちの返還金で成り立っているのです。皆さんの返還は10月から始まりますが、後輩たちのために滞滞のないようにお願いします。

奨学金の返還は、貸与終了から振替日は、月賦の場合、毎月

病気の災害などで返還が困難な状態にある場合には「返還猶予願」を提出すれば、猶予の期間が認められます。進学の場合はその学校を卒業するまで、浪りをしますので、ご注意ください。その他の理由の場合は原則1年です。届け出がないければ、たとえ在学中でも返還の義務が生じます。

返還途中で残額を一括返還してください。

返還が完了すると、「完了通知」をお送りします。

返還が行われていない場合は、本会返還課へ申し出て下さい。

奨学生本人が死亡したり、重度の心身障害者になったことになりま

次は後輩たちの力に



管理栄養士を目指して頑張る牛島さん

「この前銀座まで自転車でいったんです。50分ほどでしたから、学校までも通えるかな、と思っ

「毎朝、隣の公園でトレニングして、今度市民レースの10キロに出る予定です」（牛島さん）

二人とも、新しい寮にも慣れ、学生生活を満喫しているようだ。

先輩

お元気ですか

城福寺 住職 長島 宗紀さん

断崖状の岬、岬と岬の間の狭い入り江、そんな光景が連なる伊豆半島西海岸。西伊豆町(旧賀茂村)宇久須は、戸田、土肥、堂ヶ島、松崎と観光地の並ぶ西海岸のほぼ真ん中にある。

このひなびた漁師町の中で、落日の素晴らしさで訪れる人の多い黄金崎のそばに、今回訪ねた長島宗紀さん(34)が住職をしている臨濟宗円覚寺派の城福寺が建っている。

安、自分が死んだ後のお墓の維持をどうするか、若い者がいないのでいざというときの不安と、心配の種は尽きない。そんなお年寄りの心の問題に、「若造の私に、少しでも不安を解消してあげたい」という。

静岡県賀茂郡生まれ。平成7年、花園大学文学部仏教学科卒業。同年、鎌倉・円覚寺で修行生活に入る。平成12年、城福寺30代目の住職となり、現在に至る。34歳。

父親一道のさんの住職時代は5、6年と短かった。その間夏休みには、子どもたちをお寺に泊めて宿題や掃除など子ども会みたいなのをやって、地域の人に感謝されていた。そのときの思い出を、いまでもお年寄りからよく聞かされる。

長島さんも、3年前から正月に「城福寺」というパフレッツを作り、檀家に配っている。また年に1回だが、いざれば回数を増やしたいと思っている。少しでも檀家や地域の人たちとの接点を多くし、父親がしていた子ども会なども視野に入れていた。

13年前の平成6年、長島さんは海外研修大学の大学生リターナーとしてフランスに行った。そのときの感想文に、民泊した家庭の父親が子どもを叱る光景を、「私の心に残っていた父はいつも私を叱っていた」とつぶやかせており、さらに「私が父親になったら、パパイ(民泊先の父親名)同様に叱ったり、妻と愛情を込めて子どもを育てたいと思う」と書いている。

今年6月末には、2年前に結婚した妻・佳子さんと待望の赤ちゃんが誕生する。4代目誕生になるかはさておき、父親として、住職として、長島さんは新たな一歩を踏み出そうとしている。



父の年齢を超え、新たな一歩 地元密着を大事にする若き和尚

「生まれながら住職という職業が決まっているのは、心の中では嫌でした」と語る長島さんの口ぶりは、あくまでも穏やかだった。父の1道さんが亡くなったのが3歳のとき。赤ちゃんと母の2人の子を育てて母親の誠恵さんのお寺を立派に守ってきた。それだけに、嫌だった住職という仕事も、母親や、人気がいい」といふ土地柄に育まれ、すんなりと受け入れる気持ちになったのである。「大学生時代、つどいや学

大学は、臨濟宗妙心寺派の大本山である妙心寺が設立した京都の花園大学文学部に入学。卒業後は、鎌倉の名刹円覚寺で4年間厳しい修行をした。城福寺の檀家は約100世帯。決して多くない。この地も高齢化が進み、お年寄りが多い。将来への不安は、奈良時代の僧・行基が

し、気持ちを癒やしてあげられる、この和尚という職業は素晴らしい」と、このときは明快に答えてくれた。このお寺、地元では民話の如く、地元の伝説、再び城福寺に祭ったという。それ

ななか、南伊豆の漁師が地引網の中から金色に輝く大日如来像を引き上げた。この木彫りの仏像が城福寺の如来像だとわかり、再び城福寺に祭ったという。それ

最近の開帳は平成12年、長島さんが住職に就いたときだから、今後自分の間に目にするにはできない。33歳の若さで亡くなった父の年齢を超えた今年には、大変感慨深い気持ちでいます」と、最後にしんみりと言った。

高年齢や障害者のために物理的支障を取り除いたのがバリアフリー住宅。そしてそのことを踏まえて、最新からバリアのない、だれにとってもやさしく、暮らしやすいように設計されているのがユニバーサルデザイン住宅と呼ばれる。

今回は、家族だれもが快適な生活のできる住宅設計を理想に掲げ、建築科に学ぶ勝見浩文君にインタビューしました。

この1年間の学校生活は、基礎知識全般の習得に始まり、設計製図の基本、さらには、建築やインテリアの基礎知識全般の習得に始まり、設計製図の基本、さらにコンピュータを使って、間取りから立面図を作成する建築CAD技術なども学習しました。文系からの移行だったので、ついていくのが本当に大変でした。

好きな学科はありますか。建築関係の志望になったきっかけは何ですか。建築関係の志望になったきっかけは何ですか。

海外研修もあつたか。海外研修もあつたか。海外研修もあつたか。

これからは1年間のカリキュラムは。これからは1年間のカリキュラムは。これからは1年間のカリキュラムは。

授業となり、卒業制作を通して実践力を養うことになります。バリアフリー体験なども行うと聞いています。卒業制作とは、CADを使って模型を提出し、それを50分以内に設計されていくのがユニバーサルデザイン住宅と呼ばれる。

今回は、家族だれもが快適な生活のできる住宅設計を理想に掲げ、建築科に学ぶ勝見浩文君にインタビューしました。

この1年間の学校生活は、基礎知識全般の習得に始まり、設計製図の基本、さらには、建築やインテリアの基礎知識全般の習得に始まり、設計製図の基本、さらにコンピュータを使って、間取りから立面図を作成する建築CAD技術なども学習しました。

好きな学科はありますか。建築関係の志望になったきっかけは何ですか。建築関係の志望になったきっかけは何ですか。

海外研修もあつたか。海外研修もあつたか。海外研修もあつたか。

これからは1年間のカリキュラムは。これからは1年間のカリキュラムは。これからは1年間のカリキュラムは。

設計事務所持ち理想の家を



わが道

勝見 浩文 君

静岡産業技術専門学校 2年

静岡産業技術専門学校 遠藤進校長。昭和47年創立。所在地は静岡市。学生数約600人。最先端の技術にも対応できるスペシャリストの育成を目指す。徹底した資格取得を目指す。徹底した資格取得を目指す。

得指導体制で安定した就職実績を実現している。情報処理系情報システムアドバンス科など4学科、デザイン系に建築科など4学科、総合ビジネス科の全9学科。

入居です。半世紀以上前、米・シカゴ郊外に別荘として建てられた外壁4面すべてガラス張りのシンプルで重なり、1級建築士に挑戦。建築、インテリア、福祉住環境の真の専門家を目指します。ゆくゆくは自分の設計事務所を持ちたいと考えています。

就職先はどこなところへ。就職先はどこなところへ。就職先はどこなところへ。



勝見 芥川賞などは読みませんが、本が好きです。「ダ・ヴィンチ・コード」や『天使と悪魔』などは、『天に読む』と、最近活字を念頭に、もっぱら建築雑誌を読みあさっています。



お母さんただいま奮闘中

岐阜県 白川町 藤井 静子さん

ホームヘルパー1年生 上司「貴重な存在です」

観光パンフレットに「緑美しい静かな町があった。濃い山々と清流に抱かれた心温まるリゾート白川町」とある。JR白川口駅を出てすぐ国道41号を横切り、飛騨川を渡ると、そこにはパンフ通り、山に抱かれ、5つの川に囲まれた自然の美しい静かな町があった。直通の特急なら名古屋から1時間、岐阜から45分ほど、岐阜県のほぼ真ん中に位置する白川町。奨学生の藤井静子さん、お母さん・藤井静子さん(52)はここでホームヘルパーとして働いている。



一緒にヘルパーの仕事をしている今井恭子さん(中央)と。右は上司の福田係長



仕事の合間に驚見さんと談笑



近所の人に手伝ってもらい、かごにニス塗る

驚見ハヤ子さんとの日、二ノ塗りを手伝って側10数個のかごを持ち出した。サクルの人たちが包装用の紙の帯を使って製作したものが、出来上がったのは、お母さんが、遊ばせていた近所の年配の男性と二人でニスを塗り始めた。特別な会合も催しなかったこの日は、この後、一緒にの当番に当たっていた。



訪問宅で朝の食事作り 午後は予防介護施設へ

町の中心部から車で10分ほど走った山間に社会福祉法人白川町社会福祉協議会・白川町福祉センター「さわやか白楽園」(長島佳久局長)がある。お母さんはこの白川町福祉センターで働いている。朝、いつものように愛車を駆る。白川に沿って続く狭い道を、巧みなハンドルさばりで訪問先へ。「おはよう」と声をかけると玄関におばあちゃんが迎えに出て来た。

朝、いつものように愛車を駆る。白川に沿って続く狭い道を、巧みなハンドルさばりで訪問先へ。「おはよう」と声をかけると玄関におばあちゃんが迎えに出て来た。赤いエプロンをつけて、食事作りが始まる。「材料は30軒を6人のヘルパーが担当がある」。帳面をみながら、お母さんは「うん、うん」と

お母さんは高校を卒業した後、多治見の自動車ディーラーで働くようになる。お母さんは昭和53年、お母さんが23歳、滋次郎さんが26歳のとき、「プロボウスの言葉なんであつたかな。覚えていません」というお母さんだが、初めて会ったそのときから、繁次郎さんの粘り強いプロボウスの「強引さ」とこまめに、結婚することになった。夫は外構工事を主体とした左官業として、すでに独立していた。なんにでも前向きで積極的、「雪が降っていても仕事は出来る」と言いつつ休むこともなく、同業者から「雪の人」という異名をもらっていた。時代が時代だっただけに、仕事は多忙を極めた。お母さんの作る弁当を運転台の横に

裕子さん、利枝さんとも、すでに結婚して、お母さんにはかわいい孫が二人いる。お母さんたちも、独り暮らしのお母さんや、孝直君のことは頼もしく感じている。今、お母さんが懸念していることは、趣味として楽しんでお琴の腕が、思うように上達しないことだけかもしれない。

子ら成長し幸せな日々 悩みといえば琴の腕?

お母さんたちも、独り暮らしのお母さんや、孝直君のことは頼もしく感じている。今、お母さんが懸念していることは、趣味として楽しんでお琴の腕が、思うように上達しないことだけかもしれない。



「調子はどうですか?」。声を掛けるお母さん

「調子はどうですか?」下着は替えたの。」。食事の支度を手早く終えて、隣の部屋でベッドに横たわっているご主人にこやかに声を掛ける。体は不自由だが、意識ははっきりしているというお母さん。お母さんの明るい声に微笑みながら「うん、うん」と



おばあちゃんと朝の食事作り



WHO(世界保健機構)の憲章の前文に、「健康とは疾病や病弱がないだけでなく、身体的、精神的、社会的にすべて好ましい状態である」と記せられていて、これが世界各国の健康政策への情報発信を担うWHOの未来に向けての姿勢である。

この前文の見直しが一九八八年の理事会で討議され、後半の部分を「身体的、精神的、spiritual(スピリチュアル)及び社会的にもすべてダイナミックで好ましい状態」と改めることが提案されたが、総会で三分の二の賛同を得るまでには至らなかった。

スピリチュアリティは日本語に訳すと「霊性」となるが、キリスト教ではスピリットの原義は「神の息」とのこと、宗教的ニュアンスを感じさせ、日本人には馴染みの薄いことばである。しかし、ホスピスという終末医療の場になるとわかにはその意味が見えてくる。末期がんのケアでは身体的苦痛に留まらず、死をめぐって様々な苦痛と悲しみ、死に立ち向かう強さ、そして希望が錯綜している。スピリチュアルな苦悩を緩和する医療が求められる。仏教で言えば生老病死などの「心の苦」を解脱する境地ということになる。WHOの言う健康とは「健やかな生」を意味しているというべきであろう。病弱、病弱の人がメンタルに不健康なわけではなく、メンタルに健康だとは言えない。身体に病気があっても社会的活動を果たしている人は多いからである。しかし、医師の助言を無視して仕事に専念するのは精神的に健康な行動とは言えない。メンタルヘルスの指標に価値の実現がある。ナチスの強制収容所に捕らえられたフランクルは著書『夜と霧』に、明日にもガス室に送り込まれるかもしれないのに、毎日に対して自分の取るべき態度を追求することに価値を見出し、態度価値という考えを述べている。人にはそれぞれの生き方、働き方があるが、必ずしも仕事や人生で価値ある毎日を送っているわけではない。むしろ不満や愚痴を口に、失意に陥ったりする。でも翌日には自分自身を打って仕事に出かける。それが価値の実現の形である。不登校や引きこもりは

新シリーズ みんなで考えるメンタルヘルス ①

健康の概念

中根 晃 (元実践女子大学教授)

メンタルに健康だとは言えない。では病弱や身体の病気になったらどうするのか。悪性のリンパ腫に罹ったある医師が、夜中に起き出して実験室で自分の血液を調べていた。周囲は彼に病気に価値の実現がある。ナチスの強制収容所に捕らえられたフランクルは著書『夜と霧』に、明日にもガス室に送り込まれるかもしれないのに、毎日に対して自分の取るべき態度を追求することに価値を見出し、態度価値という考えを述べている。人にはそれぞれの生き方、働き方があるが、必ずしも仕事や人生で価値ある毎日を送っているわけではない。むしろ不満や愚痴を口に、失意に陥ったりする。でも翌日には自分自身を打って仕事に出かける。それが価値の実現の形である。不登校や引きこもりは

燃える青春

部活動拝見 なぎなた部員

愛知県私立東海学園高校2年

朝日 麻理恵さん (16)



今、日本で一番元気のあがる街、名古屋市。その東部丘陵地帯に位置する天白区東海学園高等学校。同じキャンパス内に東海学園大学文芸地区のため、若い人たちが活気のある街並みを形成している。

その一つが、今回訪れた伊藤みどり、恩田美栄、浅田舞といったフィギュアスケートの名選手の出身校としてよく知られている。

東海学園高校は、在校生約1100人の男女共学校。取り付けて、馬上の武者を薙ぎ倒すのに有効な、歩兵の武器として発達した。京都・五条大橋で牛若丸と



増田先生の丁寧な指導に聞き入る朝日さん

とか。開校以来の伝統で、体育の授業になぎなたがあり、「真面目に授業を受けた」ところを、監督の増田先生に目に留まり、部にスカウトされたという。バドミントン部にいたが、あっさり方向転換した。

朝日さんは先輩とはいえず、半年足らずの先輩だ。まだ自分が覚えるのが先決で、他人に教えるには経験不足が否めない。「危なっかしい部分がありますね」と、3年の伊藤晴香さん、初戦敗退。しかし、自分のは、こっそり教えてくれた。しかし、他人に教えるものは、自分自身で覚えることは、自分自身で覚えるには早道かもしれない。

「皆に追いつこうと一生懸命頑張っています」と、キャプテンの3年藤井太貴君も朝日さんの努力を温かく見ている。

演習練習に入ると、増田先生の動きが活発になる。目についた生徒に、「一挙手ごとに、身体の動き、なぎなたの握り、姿勢などをアツク見ている。」

学年の区別なく名前を呼び合う和やかな雰囲気。なぎなた部「勝負にこだわることなく、相手を思いやる気持ちを持ってほしい」との増田先生の意を汲んで日々競い合っている。

試合で自分を見つめ直す

戦った弁慶が手にしていた武器として有名だ。鉄砲伝来後は衰退し、江戸時代は、女性の護身用として用いられた。武家に嫁ぐ嫁入り道具の一つとなった。

こんな事情から、女性主力のスポーツだが、最近では男性の愛好者も増えてきている。東海学園でも、部員14人中男子が6人いる。

試合は、防具を付けた「試合競技」と「かた」を競う「演技競技」の2種類がある。

防具は、剣道とほぼ同じだが、大きな違いは、小手の指先が3つに分かれていることと剣道にはないすね当てがあることだ。

なぎなたの構造は、全長が210〜225センチ。重さは650グラム以上。この間、奨学生の朝日麻



「幻影」 武蔵野美術大学 油絵学科2年 柿崎 愛子



防具を付けた練習になると動きが一段と激しくなる



部訓「薙刀一閃邪気をはらう」の前に整列する部員と増田先生(前列左端)